

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和 3年 2月 19 日

事業所名: ほのぼの学級

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3	1	0	場所を構造化し子どもさんにとって分かりやすい環境となっています。生活場面で必要な姿勢を支えるための椅子や移動に必要な車椅子、運動訓練に必要な道具も多いため合理的に場所の確保を検討していきます。	5	1	0	0	・限りあるスペースの中で工夫していただいている。	
	2 職員の適切な配置	4	0	0	専門性を高めるために研修、勉強会をしています。 ・要医療児への支援や機能訓練について専門的なケアが行える体制が整っています。	6	0	0	0		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	4	0	0	構造化を行い、理解しやすい環境設定を行っています。個々に合わせて情報の伝え方を配慮しています。 ・個々に分かりやすい環境設定に心がけています。情報伝達についても子どもさんの理解や捉え方をその都度アセスメントし、わかる形、伝わる形のコミュニケーションを探っていきます。	5	1	0	0		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	3	1	0	日々の清掃、遊具玩具の消毒を行っています。今年度は特にコロナウイルス感染予防のため療育中も換気、消毒の徹底をしています。 ・毎日清掃を行い清潔に努めています。	6	0	0	0	・毎日清掃を行っていたので満足しています。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)への職員の積極的 な参画	4	0	0	施設運営に関しては迅速に協議を重ねられるよう月2 回の割合で主任会を行いその中で業務改善の協議を 行っています。クラス主任は各クラス職員の意見を集約 したものを持ち寄り、協議した結果を各クラス職員に報 告しています。行事など保護者の方が参加するものに 関しては必ずアンケートを取り次回の実施の参考にさ せていただいています。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改 善の実施	0	1	3	第三者の外部評価は実施していません。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機 会の確保	4	0	0	新型コロナ感染症のため今年度は園外研修の実施(参 加)を控えましたが、園内研修に関しては積極的に取り 組みました。 ・園内研修については、施設長、児発管、言語聴覚士、看 護師等による研修会の実施を行っています。						
	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した 上での児童発達支援計画又は放課後等 デイサービス計画の作成	4	0	0	年間支援計画を立案するに当たり、保護者の方に情報 収集及び希望を聴取し、各クラス職員・児発管・保護者 の方とでミーティングを行います。ミーティングでは子 どもさんの現状把握及び生活のしにくさについてアセ スメントしたものと、保護者の方のお考えを調整した上 で、年間の目標設定を行っています。 ・保護者の方との情報収集、スタッフとの連携を図るよ うにしています。	6	0	0	0	・再度にわたり話し合い の場を設けていただき しっかり反映されていま す。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイ サービス計画における子どもの支援に必 要な項目の設定及び具体的な支援内容 の記載	4	0	0	ひよこ園ではコミュニケーション指導に重点を置いて います。受容性と表現性コミュニケーションの視点で目 標設定を行っています。目標設定を行う際、児童発達支 援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」と 突き合わせを行っています。	6	0	0	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	0	0	次の日の準備を行う際に、その日の活動内容についてや、子どもさんたちの支援について振り返りを行い次回に活かすようにしています。 ・片付けの時や療育後に振り返りを行い、上手いかなかったところは改善点を話し合うようにしています。						
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3	1	0	日々の記録については主に午前午後での設定内容及び様子を記入しています。月ごとの記録については年間目標に沿っての支援の内容や子どもさんの状況を詳しく記録しています。						
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3	1	0	モニタリングについては月ごとに実施し、子どもさんの状況に応じて見直しを行います。年2回は定期的に目標の見直しを行い、支援の状況について確認を行っています。 ・月ごとに子どもさんの様子、支援に対する反応などを記録することで振り返りを行うようにしています。 ・日々の支援については連絡ノートに進捗状況を記入し、保護者の方と連携をとっています。						
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	1	3	0	参画できる体制を整えています。						
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	4	0	0	医療との連携や情報収集をしたうえで医療的ケアが必要な子どもさんの支援を行っています。						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	3	1	0	緊急の場合、協力医療機関へ直ちに受診できる体制を整えています。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携 (続き)	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	4	0	0	就学の際は保護者の方とサポートブックを作成し、子どもさんの実態及び支援について詳しく伝え、継続した支援が行われるよう努めています。 ・就学を迎える子どもさん、他の事業所へ変わる子どもさんへはサポートブックを作成し、園での様子を記録し伝達できるようにしています。申し送りも行い、支援の様子を伝えていきます。						
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	0	0	放課後デイサービス等、就学先だけでなくサポートブックを活用し引継を行っています。						
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	0	0	今年度は新型コロナにより実施できていませんが、専門機関の研修等を受講するようにしています。						
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	0	4	幼保等との交流の機会の設定は行っていません。幼児期において児童発達支援センターのインクルージョンの位置づけは本人のセルフエスティームを育むことと、保護者の方が子どもさんの持つ障がい特性に起因する困り感に気づけるようになり、自ら子どもさんへの配慮や支援が考えられる「よき理解者になる」ことだと考えています。ほのぼの学級の療育支援はその点に重点を置いています。	2	1	2	1	・これってひよここととの交流でいいですか？ ・交流の機会に参加することがないため、判断できない。	ほのぼの学級の障がいのない子どもさんとの交流機会の提供に関する考え方は事業所の現状評価欄に記載しています。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	4	0	0	ボランティアさんの受け入れや行事のご案内等例年実施してきましたが、今年度はコロナウイルス感染症対策の為実施できませんでした。 ・今年度はお招きできませんでしたが、例年夏祭りや運動会のご案内をしています。							

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点			はい		どちらとも いえない	いいえ	わから ない
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	0	0	重要事項説明書に記し、契約の際に説明しています。また、それぞれを療育室に掲示しています。 ・キャンセル料発生の際には必ず説明を行っています。	6	0	0	0		
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4	0	0	支援計画は保護者の方の希望も取り入れながら計画しています。支援目標内容の開示を行う際に詳しく説明を行っており、支援計画の写しを保護者の方にお渡ししています。	6	0	0	0		
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	4	0	0	全体懇談会(勉強会)、クラス懇談会、個別懇談、療育参加等(実習)を行い、保護者の方に子どもさんの障害特性理解のための情報提供から、支援の方法、関わり方等、対応力の向上を図る機会を持っています。	6	0	0	0	・個別懇談で子どもとの関わり方について教えていただき、以前よりコミュニケーションがとりやすくなっています。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4	0	0	個別や日々の連絡ノートのやりとりで、共通理解の徹底を図っています。	6	0	0	0	・連絡ノートを用いて共通理解が得られていると思います。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	4	0	0	個別懇談を月に1回行い、そこで子どもさんの困り感への支援や子育てする上での悩み等に対して具体的な対応策を検討しています。また、保護者の方の希望により出来る限り懇談日を設けるようにしています。また電話での対応も行っています。	6	0	0	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点			はい		どちらともいえない	いいえ	わからない
保護者への説明責任・連携支援 (続き)	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	4	0	0	保護者会の会場を設定したり、保護者会で企画した行事や勉強会のサポートをしたりしています。また全体懇談会やクラス懇談会の中で、保護者の方向土の話し合いが出来るよう座談会を設定したり、家庭での取り組み等を紹介あえる場の設定をしたりしています。	5	0	0	1	・参加したことがないため、まだ判断できません。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4	0	0	苦情受け付けから、解決までの体制が整っています。第三者委員を設置し今治市の苦情相談窓口、愛媛県福祉サービス運営適正化委員会(苦情解決部会)について重要事項に記しており、契約の際随時説明しています。	5	0	0	1	・体制は整備されていると認識していますが、苦情があった事例を知らないため、「対応」については判断できません。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	4	0	0	コミュニケーション指導はひよこ園の療育のテーマです。子どもさんへの関わりとしては受容性、表現性の視点でコミュニケーション支援を行っており、子どもさんが情報を受け取り整理しやすく環境を整えたり、伝えやすいコミュニケーション方法の獲得を促したりするなど、互いに伝え合うための工夫をしています。保護者の方に関しては連絡ノートや電話連絡で情報伝達をしています。また今年度より情報発信アプリ「コドモン」を導入しました。	6	0	0	0		今後コドモンでの出欠対応ができるよう整備していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	4	0	0	週案や月ごとのお便り、年間日程表などをお渡しし情報提供に努めています。また、行事やクラス懇談会、全体懇談会に関する情報を「コドモン」で発信し、確実に伝えられるような態勢を整えています。子どもさんについてはスケジュール等で一日の日課や行事の内容を伝えています。	5	1	0	0	・KODOMONを利用してみて大変利用しやすく、わかりやすいと感じています。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点			はい		どちらとも いえない	いいえ	わから ない
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4	0	0	契約の際、個人情報の取り扱いについて保護者の方に説明し、同意書にも署名捺印して頂いています。外部の方を受け入れる際は、個人情報の取り扱いについての説明したり、実習受入の際は誓約書を頂いたりしています。また管理に関しては個人情報を含む文書に関しては鍵がかかる保管庫で保管し、個人情報を含むデータに関しては一元管理を行っています。またヒヤリハット活動により意識統一をしています。	6	0	0	0		
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	0	0	それぞれ作成し、不審者対応マニュアル以外は掲示しています。感染症対応マニュアルについては「通園に関して」に記載してあり契約の際説明しお渡ししています。	5	0	0	1	・内容を確認できていなかったため、改めて内容を確認します。	来年度からマニュアル等はゴドモンの資料室に掲示する予定です。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4	0	0	月に1回消防訓練、年に1回震災訓練、その他、強風、津波、不審訓練を実施しています。 ・訓練終了後反省をして改善点等を話し合い全職員で周知しています。	6	0	0	0		
非常時等の 対応	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4	0	0	職員会や施設内研修で虐待防止研修やエンパワメント研修をしています。また、子どもさんの持つ障害特性理解を深め子どもさんへの適切な支援や関わりができるよう努めています。 ・研修会を実施し、職員も自らチェックシートを記入しています。						
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	0	0	保護帽以外の身体拘束は基本的に行いません。このことは職員会でも意識統一しています。保護帽の使用に関しては親御さんの了解も得たうえで支援計画にも記載し、記録をつけています。 ・オルソーチェアは使用場面を決めて使用しています。マニュアルを作成しています。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標				
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点			はい		どちらとも いえない	いいえ	わから ない	保護者の方のご意見
対応 (続き)	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	4	0	0	毎年アレルギーに関するアンケートを配布し、アレルギーの有無の確認を行っています。医療機関を受診していない方に関しては医師の診察をお願いしています。指示書に応じて除去食(代替食)を提供しています。 ・トレイの色分け等、食物アレルギーのある子どもさんの対応が再確認ができるようにしています。								
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	4	0	0	日々のヒヤリハット報告は、終礼時に行っています。月1回、職員全体で事例報告及び対応策の検討を実施しています。								
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか					6	0	0	0		・ニコニコして毎日通っています。		
	2 事業所の支援に満足しているか					6	0	0	0		・個々に合わせたの支援をしていただけています。		